

平成18年11月2日

少数台数のリコール届出の公表について（平成18年10月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成18年10月は下記のとおり10件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月3日	1741	車名：いすゞ 型式：PJ-CYZ52Q6 他 通称名：ギガ	14	平成17年9月7日～ 平成18年7月15日
不具合の部位等	ポールトレーラ等を牽引するピントルフック付きトラクタにおいて、トレーラの連結状態を判断する制動灯回路のプログラムが不適切なため、ABS装置が装備されていないトレーラと連結した場合、速度15km/h以下での走行時にトレーラが連結されていないと誤判断する時がある。そのため、その状態の時にトレーラブレーキを作動させた場合、制動灯が点滅するおそれがある。			

2. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月11日	1750	車名：いすゞ 型式：PB-RX6JFAJ 通称名：ジャーニーJ	19	平成16年9月17日～ 平成18年4月18日
不具合の部位等	乗合バスの車椅子固定部に装着した折りたたみ式座席の背もたれ固定機構のロックピンの強度が不足しているため、背もたれが折りたたまれた状態から背もたれを起こす際に誤った操作を行うと、ロックピンが変形するものがある。そのため、背もたれを起こした時に、当該ロックピンがロックされないことがあり、背もたれが確実に固定されず、最悪の場合、停車時等に乗客が背もたれを支えにするなどした場合、背もたれが倒れ、乗客が転倒等するおそれがある。			

3. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月12日	1761	車名：ニッサン 型式：TC-SH4F23 通称名：アトラス	2	平成18年5月16日～ 平成18年5月18日
不具合の部位等	電気装置において、作業指示が不適切なため、電気配線を束ねる固定バンド（インシュロック）の頭部と燃料ホースの隙が狭いものがある。そのため、そのまま使用を続けると、燃料ホースに傷が付き、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。			

4. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月17日	1759	車名：三菱 型式：KC-FV510UZ改 通称名：ふそう	25	平成9年9月26日
不具合の部位等	スプリング式駐車制動装置において、水浸入防止キャップをはめ込む作業が不適切なため、スプリング室に水が浸入し、スプリングが錆びることがある。そのため、スプリングが折損し、ダイヤフラムが損傷してエアが漏れ、最悪の場合、走行中駐車ブレーキが作動するおそれがある。			

注：本案件は、リコール「届出番号1715（平成18年9月5日）」にて届出を行ったものですが、対象車種の選定漏れがあったため、対象車両を追加して、新たに届出をするものです。

5. 届出者：コベルコ建機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月17日	1763	車名：コベルコ 型式：YE04 通称名：SK125Wホイール式バックホ	28	平成18年 5月19日～ 平成18年 8月10日
不具合の部位等	操縦装置において、方向指示器キャンセルピンが、正確にハンドルに組み付けられていないものがある。そのため、方向指示器レバーを作動させ、同一方向にハンドルを回した場合、レバーが干渉し、方向指示器が解除されてしまうおそれがある。			

6. 届出者：川崎重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月18日	1756	車名：川崎 他 型式：SB-K20WTB 他 通称名：K20WTB 他	74	平成15年12月 3日～ 平成18年 5月15日
不具合の部位等	アクスルシャフト固定ボルト及びワッシャの加工精度が不適切なため、ボルトとワッシャが干渉しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行時の振動等により当該ボルトの軸力が低下し、ボルトが緩むことがあり、最悪の場合、車輪が脱落するおそれがある。			

7. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月23日	外1350	車名：ベントレー 型式：ABA-BCBWR 他 通称名：コンチネンタルGT 他	23	平成18年 6月13日～ 平成18年 7月27日
不具合の部位等	一酸化炭素等発散防止装置の二次空気供給ポンプ圧力センサの密封シールを誤って剥がしたものがある。そのため、当該ポンプの吐出圧力が正確に測定できず、排気管に送られる二次空気が不安定となり、排出ガス値が保安基準に適合しなくなるおそれがある。			

8. 届出者：株式会社加藤製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月26日	1747	車名：カトウ 型式：KA5152 他	21	平成16年12月 8日～ 平成18年 5月31日
不具合の部位等	製造工程において、変速機から副変速機間のプロペラシャフトの焼き入れ作業が不適切なため、焼き入れ不良により、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プロペラシャフトが折損し、走行不能に至るおそれがある。			

9. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月26日	外1349	車名：BMW 型式：ABA-VR20 通称名：320iツアリング	5	平成18年 7月 3日～ 平成18年 7月14日
不具合の部位等	フロントロアアームとタイロッドエンドをハブキャリアに固定するナットの締め付けが不十分なため、走行等の振動により当該ナットが緩むことがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ナットが外れ、最悪の場合、ロアアーム又はタイロッドエンドがハブキャリアから外れ、走行不能となるおそれがある。			

10. 届出者：日本輸送機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月31日	1765	車名：ニチュ 型式：244AA 通称名：トランサー	4	平成17年11月8日～ 平成18年9月19日
不具合の部位等	ステアリングのノブ位置と車輪回転角度のずれを補正するステアリング旋回角度の検出センサに異品を組み付けたため、フレームからのノイズをパルス信号として誤認識することがある。そのため、ノブ位置と車輪の回転角度がずれていないのにずれているものと判断し、操舵輪を動かすことがあり、最悪の場合、確実なステアリング操作ができなくなるおそれがある。			

[参考]

平成18年10月のリコール届出総件数(※)		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	28件	20件	8件
輸入車	5件	3件	2件
計	33件	23件	10件

※対象台数の追加の届出については届出総件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 中村・木内
電話 03-5253-8111(代表)(内線42352・42355)